

第3章 地域が抱える課題の整理

1. 各学区の課題

(1) 常盤学区

位置図		市街化区域と市街化調整区域の面積と割合				
		市街化区域		市街化調整区域		合計
		0ha	0.0%	814ha	100.0%	814ha
市街化調整区域の生活利便施設の徒歩圏人口カバー率						
常盤学区	医療施設	高齢者福祉施設	商業施設	基幹的公共交通		
	34.1%	71.2%	0.0%	29.5%		
	△	△	×	△		
※徒歩圏人口カバー率：市街化調整区域平均と比較して、平均値を上回る場合「○」下回る場合「△」カバー率が0%の場合「×」						
市街化調整区域平均		68.9%	82.2%	23.0%	42.4%	
市全体平均		91.6%	95.4%	62.6%	67.2%	
基幹的公共交通路線の状況			補完交通（まめバス）の状況			
※赤字はJR草津駅起点、青字はJR草津駅終点便数						
烏丸下物線 JR草津駅西口⇔穴村⇔下物⇔琵琶湖博物館		烏丸下物線 JR草津駅西口⇔穴村⇔下物		笠縫東常盤線 JR草津駅西口⇔志那、下物		
平	12 12	平	24 24	平	6	
土	15 17	土	24 25	土	6	
日祝	15 17	日祝	24 24	日祝	0	
人口推計（千人）			高齢化率の推計		地域の分布状況	
	2010年	2040年	増減率	2010年		2040年
常盤学区	5.0	3.3	△34.6%	22.4%	37.2%	
			△	△	△	
※人口増減率と高齢化率：市街化調整区域平均との比較			平均より人口が減少する 2010年、2040年ともに平均より高齢化率が高い			
市街化調整区域	25.0	24.3	△3.0%	21.5%	36.0%	
市全体	130.9	145.1	10.8%	16.6%	27.7%	
地域資源						
<農水産業> ・道の駅草津・農業体験施設 ・あおばな栽培地・志那漁港			<事業者ヒアリングで挙げられた地域活性化に活用すべき資源> ・レイクサイドマラソン等のスポーツイベント ・湖上交通 ・釣り場としての琵琶湖 ・志那三郷の藤 ・いちご狩りや野菜収穫等の体験			
<観光> ・烏丸半島 ・琵琶湖博物館 ・水生植物公園みずの森・芦浦観音寺 ・蓮海寺 ・志那三郷の藤						
地域の課題と活性化						
<地域の課題> ・2040年に向けて人口が3割以上減少し、高齢化率も40%弱になる見込み。 ・生活利便施設や基幹的公共交通の徒歩圏人口カバー率も全ての項目で平均を下回る状況。 ・特に商業、医療の徒歩圏人口カバー率が低く、「商業」については、1,000㎡以上の商業施設が徒歩圏内に存在しない。						
<地域資源を活用した活性化> ・活用が期待される地域資源は、農業、水産業、自然・歴史・体験観光など、ジャンルを問わず豊富に存在している。						

(2) 笠縫東学区

位置図		市街化区域と市街化調整区域の面積と割合				
		市街化区域		市街化調整区域		合計
		84ha	33.3%	167ha	66.7%	251ha
市街化調整区域の生活利便施設の徒歩圏人口カバー率						
		医療施設	高齢者福祉施設	商業施設	基幹的公共交通	
笠縫東学区		94.1%	95.5%	60.4%	0.0%	
		○	○	○	×	
※徒歩圏人口カバー率：市街化調整区域平均と比較して、平均値を上回る場合「○」下回る場合「△」カバー率が0%の場合「×」						
市街化調整区域平均		68.9%	82.2%	23.0%	42.4%	
市全体平均		91.6%	95.4%	62.6%	67.2%	
基幹的公共交通路線の状況		補完交通（まめバス）の状況				
学区内に営業路線なし		上笠平井循環線 JR草津駅西口 ⇄ 野村会館・笠縫東小学校（経由）		笠縫東常盤線 JR草津駅西口 ⇄ 新堂中学校・川原（経由）		
—		平 4 土 4 日祝 0		平 6 土 6 日祝 0		
人口推計（千人）			高齢化率の推計		地域の分布状況	
	2010年	2040年	増減率	2010年		2040年
笠縫東学区	2.3	2.0	△13.5%	18.0%		28.0%
			△	○		○
※人口増減率と高齢化率：市街化調整区域平均との比較			平均より人口が減少する		2010年、2040年ともに平均より高齢化率が低い	
市街化調整区域	25.0	24.3	△3.0%	21.5%	36.0%	・JR草津駅から近く、市街化区域の延長に地域がまとまっている。
市全体	130.9	145.1	10.8%	16.6%	27.7%	
地域資源						
<農水産業> ・農地・市民農園			<観光> ・葉山川、伊佐々川、中ノ井川 ・天神社			
地域の課題と活性化						
<地域の課題> ・2040年に向けて人口は減少する見込みであるが、高齢化率は現在および将来推計において平均を下回ることから、比較的若い世代が居住していることがうかがえる。 ・公共交通は学区内には基幹的公共交通の営業路線はなく、バス交通の空白地帯となっている。補完交通は平日のみ運行している状況。						
<地域資源を活用した活性化> ・葉山川、伊佐々川、中ノ井川沿いは、散策やジョギングコースとして利用されており、ホテルやメダカ的环境学習の場としても活用されている。						

(3) 笠縫学区

位置図		市街化区域と市街化調整区域の面積と割合				
		市街化区域		市街化調整区域		合計
		101ha	20.8%	385ha	79.2%	486ha
市街化調整区域の生活利便施設の徒歩圏人口カバー率						
笠縫学区		医療施設	高齢者福祉施設	商業施設	基幹的公共交通	
		92.8%	43.4%	0.0%	70.2%	
		○	△	×	○	
※徒歩圏人口カバー率：市街化調整区域平均と比較して、平均値を上回る場合「○」下回る場合「△」カバー率が0%の場合「×」						
市街化調整区域平均		68.9%	82.2%	23.0%	42.4%	
市全体平均		91.6%	95.4%	62.6%	67.2%	
基幹的公共交路線の状況				補完交通(まめバス)の状況		
※赤字はJR草津駅起点、青字はJR草津駅終点便数						
烏丸下物線 JR草津駅西口 ⇄下笠(経由) ⇄下物・琵琶湖博物館	近江大橋線 JR草津駅西口 ⇄下笠(経由) ⇄浜大津	浜街道線 JR草津駅西口⇄ 下笠(経由)⇄近江大橋口・JR瀬田駅・JR石山駅	南草津西口線 JR草津駅西口 ⇄下笠(経由) ⇄JR南草津駅	上笠平井循環線 JR草津駅西口⇄上笠天満宮(経由)⇄野村会館		
平 24 24 土 26 25 日祝 26 24	平 6 5 土 6 6 日祝 6 6	平 8 8 土 4 8 日祝 3 8	平 10 11 土 6 5 日祝 6 5	平 6 土 6 日祝 0		
人口推計(千人)				高齢化率の推計		地域の分布状況
	2010年	2040年	増減率	2010年	2040年	
笠縫学区	3.8	3.6	△4.9%	23.4%	41.7%	
			△	△	△	
※人口増減率と高齢化率：市街化調整区域平均との比較				平均より人口が減少する		・市街化区域の延長上の浜街道周辺に地域がまとまっている。
市街化調整区域	25.0	24.3	△3.0%	21.5%	36.0%	
市全体	130.9	145.1	10.8%	16.6%	27.7%	
地域資源						
<農水産業> ・草津あおばな館 ・あおばな栽培地 ・農業体験施設 ・ビニールハウス群			<観光> ・老杉神社・上笠天満宮・草津川跡地公園(ai彩ひろば)			
<事業者ヒアリングで挙げられた地域活性化に活用すべき資源> ・あおばな ・レイクサイドマラソン等のスポーツイベント ・釣り場としての琵琶湖						
地域の課題と活性化						
<地域の課題> ・2040年に向けて人口の減少はわずかであるが、高齢化は著しく進展し、高齢化率は40%を上回る見込み。 ・高齢化の著しい進展が見込まれる一方、商業、高齢者福祉の徒歩圏人口カバー率が低く、「商業」については、1,000㎡以上の商業施設が徒歩圏内に存在しない。						
<地域資源を活用した活性化> ・活用が期待される地域資源は、あおばなや草津あおばな館をはじめとする農業関連資源が存在している。						

(4) 山田学区

位置図		市街化区域と市街化調整区域の面積と割合				
		市街化区域		市街化調整区域		合計
		90ha	15.2%	504ha	84.8%	595ha
		市街化調整区域の生活利便施設の徒歩圏人口カバー率				
		医療施設	高齢者福祉施設	商業施設	基幹的公共交通	
山田学区		51.9%	100.0%	19.2%	34.7%	
		△	○	△	△	
※徒歩圏人口カバー率：市街化調整区域平均と比較して、平均値を上回る場合「○」下回る場合「△」カバー率が0%の場合「×」						
市街化調整区域平均		68.9%	82.2%	23.0%	42.4%	
市全体平均		91.6%	95.4%	62.6%	67.2%	
基幹的公共交通路線の状況				補完交通（まめバス）の状況		
※赤字はJR草津駅起点、青字はJR草津駅終点便数						
草津山田線 JR草津駅 西口⇔山田 小学校前	南草津西口線 JR草津駅西 口⇔山田（経 由）⇔JR南 草津駅西口	浜街道線 JR草津駅西 口⇔下笠（経 由）⇔近江大 橋口・JR瀬 田駅・JR石 山駅	近江大橋線 JR草津駅西 口⇔山田（経 由）浜大津	山田線（北山田 循環） JR草津駅西口 ⇔北山田⇔山田 小学校	山田線（木ノ川 循環） JR草津駅西口 ⇔木ノ川⇔山田 町会館	
平 1 2 土 0 0 日祝 0 0	平 10 11 土 6 5 日祝 6 5	平 8 8 土 4 8 日祝 3 8	平 6 5 土 6 6 日祝 6 6	平 8 土 7 日祝 0	平 6 土 5 日祝 0	
人口推計（千人）			高齢化率の推計		地域の分布状況	
	2010年	2040年	増減率	2010年		2040年
山田学区	4.5	2.8	△37.2%	24.7%	41.9%	
※人口増減率と高齢化率：市街化調整区域平均との比較			平均より人口が減少する	2010年、2040年ともに平均より高齢化率が高い		
市街化調整区域	25.0	24.3	△3.0%	21.5%	36.0%	
市全体	130.9	145.1	10.8%	16.6%	27.7%	
地域の分布状況						
・琵琶湖岸から浜街道沿いまで地域が続いている。						
地域資源						
<農水産業> ・草津メロン ・SOFIX 野菜 ・ビニールハウス群 ・北山田漁港			<観光> ・草津川跡地公園（ai 彩ひろば）・水産まつり <事業者ヒアリングで挙げられた地域活性化に活用すべき資源> ・SOFIX 野菜 ・レイクサイドマラソン等のスポーツイベント・釣り場としての琵琶湖			
地域の課題と活性化						
<地域の課題> ・2040年に向けて人口が4割程度減少し、高齢化率も40%を上回る見込み。 ・生活利便施設や基幹的公共交通の徒歩圏人口カバー率は、高齢者福祉施設を除く全ての項目で平均を下回る状況。						
<地域資源を活用した活性化> ・活用が期待される地域資源は、SOFIX 野菜などの農業関連資源が存在し、付加価値の高い農産物としてブランド化が期待できる。 ・野菜残さ、水草等の液肥化利活用実証が実施されており、周辺には野菜栽培のビニールハウスが群立しているため、農家と連携した取組みの可能性がある。						

(5) 老上西学区

位置図		市街化区域と市街化調整区域の面積と割合				
		市街化区域		市街化調整区域		合計
		97ha	21.9%	344ha	78.1%	441ha
		市街化調整区域の生活利便施設の徒歩圏人口カバー率				
		医療施設	高齢者福祉施設	商業施設	基幹的公共交通	
老上西学区		98.7%	98.9%	46.7%	68.0%	
		○	○	○	○	
		※徒歩圏人口カバー率：市街化調整区域平均と比較して、平均値を上回る場合「○」下回る場合「△」カバー率が0%の場合「×」				
市街化調整区域平均		68.9%	82.2%	23.0%	42.4%	
市全体平均		91.6%	95.4%	62.6%	67.2%	
基幹的公共交通路線の状況					補完交通（まめバス）の状況	
※赤字はJR草津駅またはJR南草津駅起点、青字はJR草津駅またはJR南草津駅終点便数						
近江大橋線 JR草津駅西口 ⇄矢橋・新浜 (経由)⇄浜大津	浜街道線 JR草津駅西口⇄矢橋(経由)⇄近江大橋・JR瀬田駅・JR石山駅	南草津西口線 JR草津駅西口⇄草津総合病院(経由)⇄JR南草津駅西口	南草津ｲﾝﾓｰﾙ線 JR南草津駅西口⇄草津総合病院⇄ｲﾝﾓｰﾙ草津	南草津ｲﾝﾓｰﾙ線 JR南草津駅西口⇄よし池⇄ｲﾝﾓｰﾙ草津	学区内に営業路線なし	
平 6 5 土 6 6 日祝 6 6	平 8 8 土 4 8 日祝 3 8	平 10 11 土 6 5 日祝 6 5	平 17 21 土 30 24 日祝 30 24	平 13 13 土 17 25 日祝 17 25	—	
人口推計(千人)			高齢化率の推計		地域の分布状況	
	2010年	2040年	増減率	2010年		2040年
老上西学区	4.1	4.7	14.0% ○	24.0% △	52.7% △	
※人口増減率と高齢化率：市街化調整区域平均との比較			平均より人口が減少しない	2010年、2040年ともに平均より高齢化率が高い		
市街化調整区域	25.0	24.3	△3.0%	21.5%	36.0%	
市全体	130.9	145.1	10.8%	16.6%	27.7%	
地域資源						
<農水産業> ・農地 <観光> ・矢橋帰帆島公園・矢橋港跡・石津寺 ・銀峰工房		<事業者ヒアリングで挙げられた地域活性化に活用すべき資源> ・レイクサイドマラソン等のスポーツイベント ・釣り場としての琵琶湖				
地域の課題と活性化						
<地域の課題> ・2040年に向けて人口が増加する一方、高齢化は著しく進展し、高齢化率は50%を上回る見込み。 <地域資源を活用した活性化> ・活用が期待される地域資源としては、琵琶湖岸や矢橋帰帆島周辺に多様な観光資源が集積している。						

(6) 老上学区

位置図		市街化区域と市街化調整区域の面積と割合				
		市街化区域		市街化調整区域		合計
		122ha	59.1%	84ha	40.9%	206ha
市街化調整区域の生活利便施設の徒歩圏人口カバー率						
老上学区	医療施設	高齢者福祉施設	商業施設	基幹的公共交通		
	45.3%	95.8%	45.3%	24.4%		
	△	○	○	△		
※徒歩圏人口カバー率：市街化調整区域平均と比較して、平均値を上回る場合「○」下回る場合「△」カバー率が0%の場合「×」						
市街化調整区域平均		68.9%	82.2%	23.0%	42.4%	
市全体平均		91.6%	95.4%	62.6%	67.2%	
基幹的公共交通路線の状況			補完交通（まめバス）の状況			
※赤字はＪＲ草津駅またはＪＲ南草津駅起点、青字はＪＲ草津駅またはＪＲ南草津駅終点便数						
南草津西口線 ＪＲ草津駅西口⇔草津総合病院（経由）⇔ＪＲ南草津駅西口	南草津イオンモール線 ＪＲ南草津駅西口⇔草津総合病院⇔イオンモール草津	南草津イオンモール線 ＪＲ南草津駅西口⇔よし池⇔イオンモール草津	ＪＲ草津駅医大線 ＪＲ草津駅⇔南笠・治田神社（経由）⇔ＪＲ南草津駅⇔医大			
平 10 11 土 6 5 日祝 6 5	平 17 21 土 30 24 日祝 30 24	平 13 13 土 17 25 日祝 17 25	平 9 9 土 5 5 日祝 0 0			
人口推計（千人）			高齢化率の推計		地域の分布状況	
	2010年	2040年	増減率	2010年		2040年
老上学区	1.6	2.9	80.1% ○	19.6% ○	23.7% ○	
※人口増減率と高齢化率：市街化調整区域平均との比較			平均より人口が減少しない	2010年、2040年ともに平均より高齢化率が低い		
市街化調整区域	25.0	24.3	△3.0%	21.5%	36.0%	
市全体	130.9	145.1	10.8%	16.6%	27.7%	
地域の分布状況 ・市街化区域に隣接して地域がまとまっている。						
地域資源						
<農水産業> ・農地			<観光> ・南笠古墳群・仙命庵 ・妙楽寺・治田神社			
地域の課題と活性化						
<地域の課題> ・医療施設および基幹的公共交通の徒歩圏人口カバー率が平均を下回る状況。						
<地域資源を活用した活性化> ・活用が期待される地域資源は古墳群や神社・仏閣等の歴史的資源が集積している。						

(7) 志津学区

位置図		市街化区域と市街化調整区域の面積と割合				
		市街化区域		市街化調整区域		合計
		293ha	39.1%	457ha	60.9%	750ha
市街化調整区域の生活利便施設の徒歩圏人口カバー率						
		医療施設	高齢者福祉施設	商業施設	基幹的公共交通	
志津学区		70.2%	82.2%	15.5%	45.1%	
		○	○	△	○	
※徒歩圏人口カバー率：市街化調整区域平均と比較して、平均値を上回る場合「○」下回る場合「△」カバー率が0%の場合「×」						
市街化調整区域平均		68.9%	82.2%	23.0%	42.4%	
市全体平均		91.6%	95.4%	62.6%	67.2%	
基幹的公共交通路線の状況					補完交通（まめバス）の状況	
※赤字はJR草津駅またはJR南草津駅起点、青字はJR草津駅またはJR南草津駅終点便数						
53系統 JR草津駅⇄ダイキン（経由）⇄青山	153系統 JR草津駅⇄ダイキン（経由）⇄上桐生	453系統 JR草津駅⇄馬場（経由）⇄草津車庫	52系統 JR南草津駅⇄岡本（経由）⇄草津車庫	学区内に営業路線なし		
平 19 14 土 7 7 日祝 7 7	平 21 24 土 19 19 日祝 19 19	平 25 25 土 19 18 日祝 19 18	平 8 4 土 3 2 日祝 3 2	—		
人口推計（千人）			高齢化率の推計		地域の分布状況	
	2010年	2040年	増減率	2010年	2040年	・学区内には小規模な地域が点在している。
志津学区	3.2	4.3	35.9%	15.8%	23.2%	
			○	○	○	
※人口増減率と高齢化率：市街化調整区域平均との比較			平均より人口が減少しない	2010年、2040年ともに平均より高齢化率が低い		
市街化調整区域	25.0	24.3	△3.0%	21.5%	36.0%	
市全体	130.9	145.1	10.8%	16.6%	27.7%	
地域資源						
<農水産業> ・あおばな栽培地 ・ホンモロコの養殖 ・クリーンセンターの余熱利用		<観光> ・ホンモロコ ・青地城跡 ・草津焼窯元淡海陶芸研究所 ・ロクハ公園		<事業者ヒアリングで挙げられた地域活性化に活用すべき資源> ・ホンモロコ		
地域の課題と活性化						
<地域の課題> ・商業施設の徒歩圏人口カバー率が平均を下回る状況。						
<地域資源を活用した活性化> ・活用が期待される地域資源は、大規模公園や史跡、ものづくり体験の場がある。あおばな栽培やホンモロコの養殖といった草津ならではの農水産業も行われている。更新されたクリーンセンターが立地しており、余熱エネルギーの有効利用の可能性はある。						

2. 現状分析と課題の整理

学区	人口等の状況			徒歩圏人口カバー率(2010年)				状況評価
	人口増減 2010年 →2040年	高齢化率		生活利便施設			基幹的 公共交通	
		2010年	2040年	医療	高齢者 福祉	商業		
市全体	10.8%	16.6%	27.7%	91.6%	95.4%	62.6%	67.2%	
市街化 調整区域	△3.0%	21.5%	36.0%	68.9%	82.2%	23.0%	42.4%	
常盤	△	△	△	△	△	×	△	6
	△34.6%	22.4%	37.2%	34.1%	71.2%	0.0%	29.5%	
笠縫東	△	○	○	○	○	○	×	11
	△13.5%	18.0%	28.0%	94.1%	95.5%	60.4%	0.0%	
笠縫	△	△	△	○	△	×	○	8
	△4.9%	23.4%	41.7%	92.8%	43.4%	0.0%	70.2%	
山田	△	△	△	△	○	△	△	8
	△37.2%	24.7%	41.9%	51.9%	100.0%	19.2%	34.7%	
老上西	○	△	△	○	○	○	○	12
	14.0%	24.0%	52.7%	98.7%	98.9%	46.7%	68.0%	
老上	○	○	○	△	○	○	△	12
	80.1%	19.6%	23.7%	45.3%	95.8%	45.3%	24.4%	
志津	○	○	○	○	○	△	○	13
	35.9%	15.8%	23.2%	70.2%	82.2%	15.5%	45.1%	

※この計画では、小学校区単位で集計していますが、高齢者福祉施設の取組みについては、「草津あんしんいきいきプラン」において、中学校区（6学区）を日常生活圏域と定めて進めています。

【○、△、×の定義】

「○」 徒歩圏カバー率の平均値を上回る項目、「△」 徒歩圏カバー率の平均値を下回る項目、

「×」 徒歩圏カバー率が「0%」の項目

【状況評価】

「○」…2P

「△」…1P

「×」…0P

として、各項目の合計ポイントで状況进行评估します。



<状況評価（課題の大小を数値化）>

- 10P未満…生活・交通の両面からの拠点機能整備が必要
- 10P以上…個別の課題について、集中した取組みが必要